

「確実なあゆみ」

神奈川県公立中学校教育研究会
 技術・家庭科研究部会長
 上の台中学校 校長 宮本 里美

来年度に迫った関東甲信越地区神奈川大会に向け、研究部会のみなさまには、大会運営や研究にとお取り組みいただき感謝申し上げます。

さて、新教育課程においても、本教科の果たす役割はますます重要になってまいります。しかしながら授業数においては、選択教科もなくなり、実践的・体験的な学習の確保に苦慮しているのではないのでしょうか。こうした現状の中でも、「県ものづくりフェア」が11月3日に大和市立渋谷中学校で開催され、367名もの参加者を迎えることができました。昨年度の反省を活かし1日開催とし、より充実した取り組みとすることができました。今後も多方面に本教科の重要性を示すため継続的に発信していきたいと考えています。そのひとつに、11月14、15日に行われた「産業フェア in かながわ」があります。今回、中学生のブースを設け作品を展示することができました。さらに、関東甲信越地区茨城大会全体会において、来年度の神奈川大会全体会提案を行いました。文部科学省の両調査官からは、新指導要領実施に向け、研究テーマを活かし、各分野の内容が充実するようにとご助言いただきました。指導要領の「習得・探究・活用」の部分が強調されています。神奈川のキーワードとして「出会う・見つめる・深める・まとめる・つなげる」とし、問題解決的な学習の充実に努めてまいりました。本教科の研究部会が8会場で行われることも、県全体で研究を推進するための工夫です。これも48回まで継続してきました。各地区でのご苦勞は多々ありますが、県全体がひとつになって取り組む意義は大きいと感じています。研究と同時に運営面も来年度に向け動き出しています。ご多忙にもかかわらず、ご助言をいただいている調査官のご協力を得て、実りある研究を期待いたします。

「新学習指導要領の実施に向けて」

神奈川県教育委員会教育局
 子ども教育支援課
 教育指導担当 指導主事 米持 正伸

新学習指導要領の円滑な実施に向けては、昨年夏に開催した全県公立小学校及び中学校教育課程説明会でもお知らせしたところですが、平成22年度の新入生から新学習指導要領による3年間を見通した年間指導計画が必要となります。あと1ヶ月余りで新年度を迎えますので、作成した年間指導計画について次の点を再度点検していただけたらと思います。

1点目は「教育環境の整備」についてです。エネルギー変換や生物育成及びデジタル作品の設計・制作やプログラムによる計測・制御などが選択から必修になりましたが、それらを行うための環境は整っているでしょうか。

例えば、畑が必要なのにないとか、センサーが必要なのにないなど、年間指導計画と矛盾しているところがあれば、早急に是正する必要があります。

2点目は、「工夫し創造する能力をはぐくむ」ことを意識したものづくりを計画しているかについてです。作品の完成だけを目指すのではなく、中学生の立場で持続可能な社会を構築するための技術を適切に評価し、それらを活用する能力と実践的な態度を育成する指導が計画できているか、また、それらの指導を実現できる「題材」を選んでいるかを振り返ってみてください。

3点目は「ガイダンスの扱い」についてです。ガイダンスのねらいは「習得」ではなく「関心を持たせる」ことです。技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割や技術の進展と環境との関係について関心をもたせることをねらいとし、3学年間の学習の見通しを持たせた指導となるよう配慮してください。

最後に、子どもたちの「生きる力」をはぐくむうえで、技術・家庭科は重要な教科です。このことをすべての人々に理解していただくためにも、新学習指導要領に込められた理念を基に、魅力あふれる教科に創り上げることを皆で目指していきましょう。

第10回全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ

開催日 平成11月3日(火) **場所** 大和市立渋谷中学校

今年度から1日開催となった全国中学生創造ものづくりフェア。創造アイデアロボットコンテストでは、部門名が授業内部門・応用部門・映像部門となりました。あなたのためのおべんとうコンテストでは規定課題が変わりひき肉から魚へ、被服部門ではハーフパンツの製作からバックの製作へと変更となりました。

開会式の様子



客席の様子



部会長挨拶



文部科学省 教科調査官祝辞

【生徒作品コンクール】

I 部門：授業内製作作品部門で、技術分野・家庭分野ともに教科の授業時間内に創造製作した作品の部門の展示です。

II 部門：自主製作作品部門で、技術分野・家庭分野ともに長期休業・放課後の活動で創造製作をした作品部門の展示です。

限られた授業時間数の中で製作された作品も多かったと思いますが、どの作品も一人ひとりの思いがこもったすばらしい作品ばかりでした。



【めざせ！！「木工の技」チャンピオン】

規定課題の製作予選を通過した11名が本戦競技に参加しました。当日は、神奈川県産の杉材1枚を使って事前に設計したCDラックを150分で製作しました。製作後、自分の作品のプレゼンテーションを行いました。プレゼンテーションでは、作品の工夫点や思いなどを発表しました。

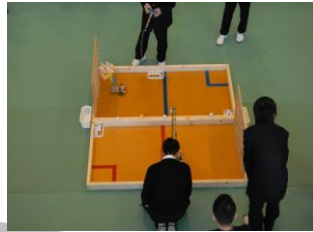
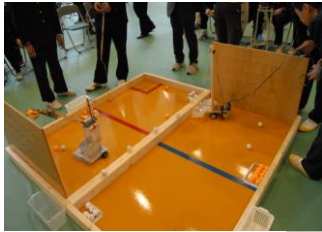


製作の様子

プレゼンテーションの様子

【パソコン入力コンクール】

多くの生徒の参加があり、一時はコンピューター室が全部埋まってしまいました。結果を随時掲示したことでより一層熱心に取り組む姿が見られました。



【創造アイデアロボットコンテスト】

授業内部門と応用部門の2つの部門で実施されました。どのチームもアイデアいっぱいのロボットで熱戦を繰り広げていました。



【豊かな生活を作るアイデアバッグ】

今年度からアイデアバックに課題が変わり、男子の応募も増えました。応募された12点すべてが審査の基準である用布量やポケット口やまつり縫いなどがきちんとできており、完成度の高い作品となっていました。

【あなたのためのお弁当コンクール】

予選46チームから勝ち抜いた12グループが本選に参加しました。午前・午後の6グループごとに分かれ、30分の準備後90分でお弁当の製作を行いました。

「あなたのため・・・」の“あなた”とは、父親や母親など対象者は様々でしたが、仕事に忙しい家族のために栄養面に配慮したものや色取りなどそれぞれのチームが工夫をこらしたアイデアあふれるお弁当ばかりでした。



お弁当の製作に取り組む様子



プレゼンテーションの様子

出来上がりのお弁当



第10回全国中学生創造ものづくり
教育フェア 関東甲信越ブロック大会

1, 日時 平成21年11月29日(日)

2, 場所
軽井沢町立軽井沢中学校
軽井沢町社会体育館

3, 出展・出場校

○目指せ!!「木工の技」チャンピオン

川崎市立橘中学校
国大附属横浜中学校

○「豊かな生活を創るアイデア
バッグ」

横浜市立舞岡中学校
川崎市立田島中学校

○創造アイデアロボットコンテスト

横須賀市立長井中学校
長井ストレート号
長井ハッピー号
長井ドリーム号
長井チャレンジ号
横須賀市立北下浦中学校
BIG BANG
きたしもうら
横須賀市立衣笠中学校
Northern Lights2
横須賀市立公郷中学校
東方星蓮船
ドラゴンズ
川崎市立宮前平中学校
チーム SSS

第10回全国中学生創造ものづくり
教育フェア 全国大会

1, 日時 平成22年1月23日(土)
24日(日)

2, 場所
第一会場 THEATRE 1010
第二会場 足立区立千寿桜堤中学校
第三会場 女子栄養大学

3, 出展・出場校

○毎日パソコン入力コンクール
横須賀市立長井中学校 (2名)
茅ヶ崎市立西浜中学校

○作品展
横浜市立万騎ヶ原中学校
小田原市立国府津中学校
川崎市立金程中学校
相模原市立藤野中学校
横須賀市立鷹取中学校
横須賀市立上の台中学校(3点)

○創造アイデアロボットコンテスト
横須賀市立長井中学校
長井ストレート号

<入賞作品>

日本家庭科教育学会賞
横須賀市立鷹取中学校
作品名 ENNITI



<コメント>

縁日をイメージし、幼児とともに遊べる作品である。幼児の発達に合わせて遊び方を工夫することができる。

<第49回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会神奈川大会の
案内・申し込みについて>

期 日 平成22年10月14日(木)・15日(金)

14日(木)【理事会】

【全体会・講演会】

15日(金)【授業公開・分科会】

県立青少年センター 多目的ホール

県立青少年センター ホール

9分科会8会場

申し込み方法 県内の申し込みは、県総会(5/25)と第1回合同委員会(6/11)で行います。地区での申し込みについては、地区から連絡があります。

※22年度、県総会は「技能文化会館(横浜)」にて行う予定です。